

2013 年度日本福祉文化学会『北陸ブロック』福祉文化現場セミナー

障がいのある人の生きがいを支えるコミュニティ～地産地消の食事作りの実践から～

開催要項

〈1〉開催の目的と背景

今回の現場セミナーでは、障がいのある人の就労について、考えたいと思います。仕事は、経済的な自立の意味合いだけではなく、地域に根を張り、役割を担いながら生きがいのある暮らしを成立させる重要な要素です。しかしながら長続きする仕事の創出は容易なことではありません。

障がいのある人たちが、やりがいを感じながら生き生きと働ける場を創出した好事例として、福井県鯖江市の NPO 法人・小さな種ここの「食事作り」の取り組みを取り上げます。また、世界で初めて知的障がいのある人たちと職員が開いたスウェーデンのレストランの事例も取り上げ、シンポジウムを行います。参加者の皆様と考え合いながら、さまざまな障がいのある人たちが生きがいを持てる仕事を、どのように地域は本人たちと一緒に作りだしていけるのか。その方策や知恵の経験交流を、実際に障がいのある人たちが働いている姿を見学しながら行いたいと思います。また、「食事作りが」もつ意味についても、あらためて問い直してみたいのです。

1 日目、2 日目ともに、鯖江市の NPO 法人が運営するコミュニティ・カフェ「こころ Café&Lunch」の活動報告や、そこで実際に夕食をとりながらの情報交換会、同じ法人が経営する野菜作りの見学という、この場所でこそできるプログラムを企画しました。

「こころ」では、発達障がいのある若者たちが生き生きと、そして自然な姿で仕事に取り組んでいます。ランチメニューには地元で収穫された新鮮な野菜が使われ、福井の名物である手打ちそばも定番の一つになっています。1 日目の懇親会では、美味しい食事をゆっくり楽しんでいただけたらと思います。2 日目には こころファームで野菜作りを見学した後、“越前和紙の里”を訪問します。その後はオプションとして“河和田うるしの里”を訪れ、福井の伝統技術に触れていただき漆器で昼食をとるプログラムを組みました。多くの方々の参加をお待ちしています。

〈2〉企画実施について

本セミナーは北陸ブロック会員と有志により実行委員会を結成し、企画・準備・運営を行うものです。

- 主催：日本福祉文化学会北陸ブロック
現場セミナー実行委員会
- 共催：日本福祉文化学会
- 後援：(未確定)



〈3〉日時

2013年11月2日(土) 13時30分～

11月3日(日) 14時。ただしオプションに

不参加の方は11時15分に鯖江駅にて解散。

〈4〉会場

鯖江市 嚮陽会館（さばえし・きょうようかいかん）

〒916-0027 鯖江市桜町2丁目7番1号 電話：(0778) 52-5789

〈5〉参加費

- ① 1日目セミナーのみ参加の方（資料代として）：500円
- ② 1日目セミナー&懇親会情報交換会のみ参加の方：3000円
- ③ 1日目セミナー&宿泊&懇親会情報交換会参加の方：8500円

※河和田での昼食代金は、各々その場でお支払いください。

※参加費は、当日受付にてお支払いください。

〈6〉日程

1日目：11月2日（土）

13：00 鯖江市嚮陽会館受付開始

13：30 開会

13：40 主催者挨拶・趣旨説明

13：50 シンポジウム（以下の役割は予定）

司会 杉本 博氏

報告者 ①清水 孝次氏（NPO 法人小さな種・こころ 理事長）

② 氏（NPO 法人小さな種・こころ スタッフ）

③宮川 深雪氏（NPO 法人小さな種・こころ 施設長）

④石井バークマン麻子氏（福井大学教授）

16：30 シンポジウム終了予定

18：00 懇親会情報交換会：コミュニティカフェ “こころ Café&Lunch”

2日目：11月3日（日）

9：00 フィールドワーク I：ファームでの野菜作り（NPO 法人小さな種・こころ）の見学

10：00 フィールドワーク II：越前和紙の里を見学

※ここままで終了の方は、11：15に JR 鯖江駅で解散となります。

11：30 フィールドワーク III：河和田塗り（漆工芸）を見学し、漆器で昼食をとる

14：00 JR 鯖江駅で解散

〈7〉申し込み

別紙申込書に記載の上、10月28日（土）までに FAX または、同内容を E メールで日本福祉文化学会・北陸ブロック事務局石井バークマン宛に送信してください。

〈8〉宿泊先

◎サバエ・シティホテル

所在地：〒916-0027 鯖江市桜町3丁目3番3号 電話：(0778) 53-1122

禁煙シングル・ルーム朝食付き 5500円

和室（4人～5人）一人当たり4500円

以上。